



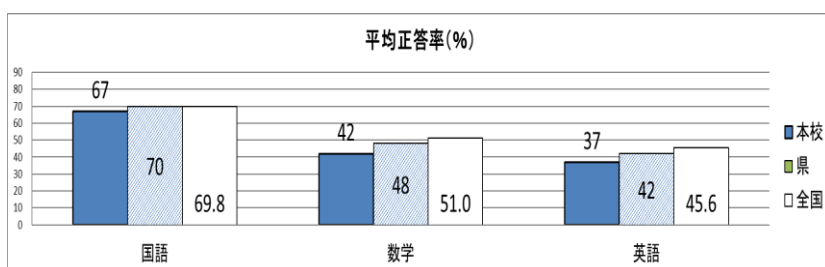
まだまだ伸びる南中生、更なる学力向上を目指して頑張ります！

校長 藏 蘭 孝一

文部科学省が今年4月に実施した全国学力・学習状況調査結果を公表しました。この調査は、小学6年生及び中学3年生を対象として、各学校における学力と学習状況について、その実態を明らかにし、今後の指導に生かすために実施されるものです。昨年度末段階における学力・学習状況として捉えられますが、本調査結果分析に基づく本校の状況についてお知らせいたします。

学力調査は国語・数学・英語及び英語（話すこと）について実施されました。全国・県・本校の結果については、グラフにお示ししたとおりです。（県・本校については少数点以下のデータが公表されていないため、整数値での表示となっています。また英語（話すこと）については正式なデータが公表されていないため、グラフには表示されておりません。）

学力調査については、本校の平均正答率はどの教科においても全国・県平均を下回っている状況があります。また正答数分布を分析しますと、本校では学力の個人差がやや大きいことも分かりました。このような実態を踏まえ、本校では教員の授業改善、授業力向上を核として、様々な学力向上対策に取り組んでいるところです。



学習状況については、生徒質問紙というアンケート形式の調査が行われました。全国・県との比較等から特に顕著なこととしては次のようなことが挙げられます。

【よい傾向の見られる項目】「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合

- 自分にはよいところがあると思うか。89.3%(対県比+11.0, 対全国比+9.3)
- 将来の夢や目標をもっているか。75.5%(対県比+7.5, 対全国比+9.2)
- 人が困っているとき、進んで助けているか。97.0%(対県比+7.6, 対全国比+8.9)
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思うか。90.1%(対県比+11.2, 対全国比+12.5)
- 地域や社会のために何かしてみたいと思うか。83.2%(対県比+16.9, 対全国比+19.3)
- 授業の中で、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいるか。86.3%(対県比+7.7, 対全国比+4.0)
- 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりできているか。90.1%(対県比+9.5, 対全国比+10.4)
- 学習した内容について見直し、次の学習につなげることができているか。87.0%(対県比+16.6, 対全国比+17.8)

【課題と思われる項目】

- 地域の行事に参加しているか。
「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」と回答した生徒の割合 65.7%(対県比+4.3, 対全国比+3.8)
- 解答時間は十分であったか。(英語)
「やや足りなかった」「全く足りなかった」と回答した生徒の割合 37.5%(対県比+3.9, 対全国比+8.3)



本学習状況調査から、本校の生徒は、自己肯定感、将来への進路意識、規範意識が高く、学習に向かう姿勢も前向きな生徒が多く、全般的に大変よい傾向が見られます。一方、特に顕著な課題についてはあまり見られませんでした。

また各教科、領域において特に定着が必要な問題等の分析から、今後の授業において改善が必要なことも明らかになりました。

本調査結果の分析を基に、本校の学力・学習状況及び学力向上に向けての取組等について、次のとおりまとめましたので御覧ください。南中生にはまだまだ伸びる可能性があります。今後も、生徒の無限の可能性を最大限に伸ばす教育に努めてまいります！なお、今回お示しした調査結果はあくまでも学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださるよう、併せてお願いいたします。

国分南中生の学力及び学習状況について

～令和5年4月実施 全国学力・学習状況調査結果の分析から～

霧島市立国分南中学校

生徒の無限の可能性を最大限に伸ばす授業を！
～まだまだ伸びる南中の子どもたち！～

◎ 生徒の学力の状況（学力調査から）

課題 学習集団の上位層の生徒の割合が低く、学力の個人差が大きい

身に付けた知識や技能を活用する力が十分に高まっていない

具体的には次のような力の向上が望まれます

定着が十分でない生徒へのきめ細かい指導とともに、ある程度習熟が図られている生徒を更に伸ばす指導を工夫することで、全ての生徒に達成感が得られ、確かな学力が定着する授業を目指します。

- ◇ 根拠を明確にして思考し、表現する力
- ◇ 事象を関連付けて論理的に考える力
- ◇ 考えたことを筋道立てて説明する力
- ◇ 目的に応じて文章をつくり表現する力
- ◇ 与えられたデータから課題解決のために必要な情報を選択し、活用する力

そのために必要なことは・・・

学習目標の質的向上

学習目標の質を、生徒が「達成したい」という課題意識をもつとともに「知識・技能を活用できる」ものにまで高めること

学習活動の質的向上

授業で取り扱う教材や学習活動の質を、「生徒の主体的な探究や気づき等を引き出す」ものにまで高めること

◎ 生徒の学習状況（生徒質問紙調査から）

南中の子どもたちのよいところ

自己肯定感が高い

将来への進路意識が高い

規範意識が高い

健全な生活態度が身に付いている

多様な考えを受け入れる資質が身に付いている

学習目標に対する課題意識が高い

学んだことを活用しようとする意識が高い

南中の子どもたちの課題

地域行事への参加が少ない

短時間で問題を読み解き、解答することに慣れる必要がある

◎ 授業改善のポイント

このような学力・学習状況の実態を踏まえ、次の視点から授業改善に取り組めます。

- ◇ まず、生徒に当該教科のことを好きにさせること
 - ※ そのためには、教師自身が授業を楽しむ姿勢を見せること（当該教科の魅力を、生徒が教師の姿から感じ取れること） その上で・・・
- ① 生徒の課題意識を高める学習目標の設定と興味・関心を高める導入の工夫
- ② 生徒が自ら考え活動する時間の確保と様々な考えを引き出す発問や指導の工夫
- ③ 生徒相互の考えや意見の交流を図るための働きかけの工夫
- ④ 限られた時間の中でスピーディに課題解決を図れるような学習活動等の工夫
- ⑤ 生徒に学習したことを明確に意識させ、確実な定着を図るまとめの工夫

学びにまっすぐな南中生のよさを十分に生かし、更なる学力向上に努めてまいります！